

新入会員の紹介

83期
83期のメンバーは、主将を務め献身的なゲームメイクをするポール掘きが得意なPGの菅原、高い得点力とリバウンド力を持ち支部選抜となったPF徳武、190cmの長身ながらシュートやパスもうまい器用なC金森、速攻の先頭を駆け抜けDFでも粘り強い堅実なSG長田、ミドルレンジのシュートや果敢なドライブから得点するSG山内の5人です。中学から渡部コーチの指導を受けディフェンス力に長けると評判でした。人数は少ないものの、高校でも低学年のころからレギュラーとして出場する面々があり、最近の武蔵の特徴でもある、縦の関係の強さが出るチームでした。現在も先輩方や後輩たちと仲の良い学年です。(キャプテン菅原)



83期
左から：徳武、山内、菅原、長田、金森

84期
後ろ左から：佐久間、奥村、浅見、岩崎
前左から：大熊、橋本、園田

84期

中1の時にバスケットに入部したのは9人で、その後高2の時に1人辞めてしまったものの、残る8人は1人も辞めること無く結束力の強いチームであった。耐震補修工事の影響により体育館の使えない時期もあったが、目標意識を失うことなくチーム一丸となって日々努力した。キャプテン、副キャプテンを中心に良くまとまったチームであった。(キャプテン橋本)

寄付御礼 『ありがとう』でございます！

平成21年度中に会費以外に寄付をいただいた方々です。ここにお名前を掲載させていただきまともに、改めて御礼申し上げます。

- 19期：岡部俊亮様 26期：台座博人様
- 28期：西室泰三様 30期：永田有作様
- 32期：吉澤正様 33期：平岡敏夫様
- 34期：三井泰様 54期：今田太郎様
- 松原健二様 山田誠司様

編集後記

バスケットは足腰が重要と畑公に教わりましたが、お陰様で「RKM会費の足腰」は充分出てきました。あとは軽井沢フリースロー大会にむけての自分の足腰だけ？(会計幹事 竹原)・今回は若手との橋渡しとして編集には参加させていただきます。(脇田)・今年の会報作成には、Eメールが大活躍しました。100年史を担う50、80期の皆さんからのRKM幹事宛への積極的な情報発信お待ちしております。(会報編集長 福屋)・同窓会と同様に本会報も自主編集に挑戦しました。皆さんからのニュース

をお待ちしています。(HP・総務 桑水流)・会報のレイアウト、難しかったです。何とか詰め込みました(桑田)物故者 平成21年5月以降に亡くなられたRKM会員をご報告いたします。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

- ・黒河内浩(12期理)
- 平成21年6月13日逝去
- ・梅戸仁(23期文)
- 平成22年3月7日逝去
- ・三島稔(30期)
- 平成22年5月18日逝去

観戦記(抜粋) 23期 黒板行二 (全文はHPをご覧ください)

【対東海大付高輪台】
武蔵のスタートはガードの#4と#14、195cmを越える長身の#5と#9と#7。試合前の練習では互角かと思えたが武蔵のプレスディフェンスが相手のシュートをなかなか許さず、こちらの長身選手がゴール下を支配して1Qで16点のリード。これを最後まで保って勝利した。
武蔵はトラベリングが多く、ファウルも重なって退場選手が出る始末だったが、相手のフリースローが入らないことに助けられた。多くの選手を繰り出し、第2試合への主力選手の体気温存、また1年生ガードや2年生センターの経験まで積ませることが出来た試合だった。

【対都文京】
関東大会予選でのダブルヘッダー第2戦で体が動かず惨敗した記憶を吹き飛ばす試合振りだった。前半はディフェンスがしっかり機能し16点リード。安心して見ていられると思いきや、後半ディフェンスが甘くなり、インサイドでも3Pでもやられ始め、#4が左太腿の痙攣で退場する。第一試合と同じ審判にトラベリングを再三吹かれて、相手を調子に乗らせて追いつけられなかったが、3Q終了間際に#5が3Pを見事沈めて6点差と出来たのは有難かった。
4Q、#4が出場したが再度痙攣のためベンチへ。代わった#13は卒なくガード役を務めるも、調子を掴んだ相手は追い上げ、残り5分を切って2ゴール位リードのところでも#4が戻るも、ターンオーバーなどでついに同点とされたが、これから良かった。フリースローを#7と#5が落ち着いて沈め、シュートチャンスを確実に決め、ターンオーバーからレイアップを決めようとする相手選手に追いついて右手に乗せたボールを弾き飛ばしたのは#4だった。皆見事な闘志を見せ最後は10点差をつけた。
多くの選手交代を上手くつなげた山崎コーチの采配は見事だった。スターターも交替選手もそれぞれ特色がある。中学時代に彼らを育てた若手OB達のコートへ飛び出さんばかりの応援がハーフタイムに注意されたのも面白かった。

【対京北】
都2位という京北相手に大きなプレッシャーがあったのだろう。1Qの入り方で躓いてしまった。スピードのある相手に対してよく守り、良く走っていたが、肝心のシュートを外す。いつもは入るフリースローも半分しか入らない。その間相手は着実にゴールを重ねすっきり調子に乗ってしまった。
日本代表2人をかかえる京北は、パス回しの早さ、鋭いドライブからのさばき、3Pシュートの確実性などを、口惜しいが縦横に発揮された。交替選手もそのスピードが落ちない。劣勢ながら武蔵チームは臆せず全力で戦い、最後まで走り続け、主力の3年生#4、5、7は5ファウル退場となるが、最後は#14を中心に2年生チームが気力を振り絞って戦ったのは、来年のために良い経験であった。

日本のバスケットの底辺はどんどん広がり、高校のレベルは高くなっている。特にスピード、パス回しとドライブの早さがすごく進歩している。来年以降武蔵チームももっともスピードを身につけられたらと思う。歴史的かどうかは別にしても手強い東海大付高輪台と都文京に勝って、何十年ぶりかでベスト16に進出する快挙である。何人かが大学に入ってから正式にバスケットを続けることを期待しています。

中高試合結果

高校生、京北に敗れるもインハイ予選ベスト16入り!

高校試合結果

新人戦(第4支部)
2009年10月25日
武蔵○143-36都北園
2009年11月1日
武蔵○81-65都文京
2009年11月3日
武蔵○105-80早大学院(ベスト32)
2009年11月8日
武蔵●74-72都東大和

新人戦(都大会)
2010年1月10日
武蔵●72-134八王子
関東大会(都予選Cブロック)
2010年4月18日
武蔵○121-60都第三商
2010年4月25日
武蔵○108-50都上水
2010年4月29日
武蔵○76-72昭和第一学園(ベスト32)
2010年4月29日
武蔵●86-92大東文化大第一

インターハイ(都予選Dブロック)
2010年5月23日
武蔵○154-43都町田工
2010年6月6日
武蔵○107-55都武蔵野北
2010年6月13日
武蔵○91-73東海大付高輪台
2010年6月13日
武蔵○72-62都文京(ベスト16)
2010年6月20日
武蔵●53-119京北

中学試合結果

新人戦(練馬地区予選)
2009年10月11日
武蔵○59-57大泉北
2009年10月18日
武蔵●58-59練馬東

新人戦(練馬地区予選) 春大会(練馬・中野・杉並ブロック予選)
2010年4月18日
武蔵○121-40松ノ木
2010年4月25日
武蔵●33-134石神井西

都総合体育大会(練馬地区予選)
2010年6月13日
武蔵○76-47貫井
2010年6月20日
武蔵○57-50光が丘第二
2010年6月27日
武蔵●45-60石神井

平成22年度総会報告

平成22年度RKM総会は平成22年6月10日(木)に日本教育会館(二ツ橋)にて開催されました。今回も出席者49名と盛会で、若手の出席者も年々増えてきています。昨年2月開催の総会にて、総会開催時期を年配の方にも学生にも参加しやすしい・暖かくまた学校の試験や行事が少ない6月とすることに賛同頂き、経過処置として昨年11月に平成21年度総会を開催し、会計年度を暦年から4月〜3月に変更しました。また会員要件を拡大し、会員推薦・理事会承認により会員となれるようにしました。

- ・平成21年度事業報告および会計・会計監査報告
- ・平成22年度事業計画および会計予算
- ・新会員(5名)
- ・会員要件拡大に伴い、36期・鳥海雅義さん、42期・清田喜一さん、

RKM会報

2010年8月発行

編集・発行：RKM幹事会

RKM 幹事会事務局：
桑水流正邦
(くわするまさくに)
〒132-0035
東京都江戸川区平井
4-22-2-704 渡瀬方
info@rkm634.com

RKMホームページは
http://www.RKM634.com
です。
ロッカールームには
ユーザー名：rkm634
パスワード：tatsuoで
入室出来ます。

斉藤宗男さん、竹内寛さん、武蔵大学卒・バスケットボール振興会事務局長・渡辺誠さんを普通会員に、元教員・福本久雄さんを客員会員に迎えることとなりました。また、5月に開催された同窓会総会にて、現RKM会長・吉澤正さんが同窓会会長に選任されましたが、RKM会長も引続き務めて頂くことになりました。

懇親会の部は、23期・黒板行二さんの乾杯の音頭で幕を開け、直近に行われたインターハイ予選の様子を紹介するビデオが流れるなか、多くの方々から挨拶を頂きました。特に福本先生からは、昭和37年に発行された中学校体育指導用の「バスケットボールの授業」には、畑公の「技術訓」から多くの引用があったとの紹介がありました。

RKMアーカイブスについて

尚、多くの方からRKMやバスケット界に関する記録・写真がある

るとのお話をいただきました。幹事会ではアーカイブス活用方策として、将来の「RKM100年史」編纂を大きな柱とし、以下のような活動目標を掲げました。

- ・50期までの会員には、RKM50年史に記載されなかった内容を補足する資料をぜひご提供いただきたいと考えています。一方50期以降のRKM会員は、関連資料を集めてまとめる作業を行う機会を持ちませんでした。そこで、
- ・試合結果・練習・合宿日誌や記録・フォーメーション
- ・などに関する資料について、まず所在を各期でご確認ください。詳細は、期幹事会を通じて改めて連絡します。

次回総会予定

次回の総会は、平成23(2011)年6月9日(木)に日本教育会館(二ツ橋)にて開催予定です。多くの会員にご出席いただきたく、スケジュール調整お誘い合わせをよろしくお願いたします。



1：集合写真
2：山崎先生と交流
3：20期台
4：70期台
5：黒板氏による乾杯
6：福本先生
7：渡辺新会員

山崎流武藏術

体育科・高校コーチ
山崎 正晴

今回RKM会報に寄稿させていただくことになりました。OB諸兄を前に甚だお恥ずかしいのですが、武藏にて大切にしていることを少し述べさせていただきます。まだ浅はかな発想ではあると思いますが、これを元に日々指導に取り組んでいます。

今の武藏の根幹は、バスケットボールを概論(全体像)から教えようということです。運動習慣が無くバスケット技術も未開発な生徒に教科書(すべての技術を網羅した、チームが勝てる原則が記載されている教科書があると想定して)どおりスキルを一つずつ教えているのはチームとして仕上がるのに時間がかかり、生徒も興味を引かないと思いました。畑先生とは晩年、多少ご指導を受ける機会がありました。その折りに「僕はね、練習試合というものをあまりしなかった。君が指導するときには練習試合も多く取り入れてやってください。」と言われたことが思い出されます。

32期の7人

32期 佐室 瑞穂

以下は日本経済新聞2002年12月16日のコラム「交遊抄」に私(当時キリンビバレッジ社長)が掲載された内容からの、一部抜粋引用である。

「***** 無我夢中でインターハイ連覇の夢をつかんだ7人の仲間の結束は今でも固い。***** 仲間とは吉澤正君(筑波大学教授)、印南文雄君(日本合成化学工業専務)、清水英邦君(エンターエポック社長)、三矢尚君(イソップ社長) 羽田忠夫君(日光グラウンドホテル社長)、守屋宏君(元第一生命・現コントラバス奏者)と私である。***** 数年に一度体育館つきの温泉に夫人同伴で出かけて、軽いバスケットを楽しむ。***** 少し先だが、7歳でフリースロー100本中70本を成功するエージシューターに、誰がなれるかと今から競い合っている。*****」

これは皆が63歳の頃の記事で、昨年は全員70歳を越え、仕事から引退した者も多くなった。家族や本人の健康その他の事情で、そろっての旅行も難しくなってきた。そこで、昨年からホームカミングデーの日に、懐かしい母校に集まることにした。吉沢君はさすがRKM会長、驚異的な82本で

を作るのではなく、Offでは2on1、Defでは1on1+αの状況を作らせるといことです。常に自分たちは弱者であるという前提に立っています。Offでは走りつことを中心に足を動かし続け、オープンスペースを作り、1on0の状況でシューターを打たせる。Defでは1on1で守りながら+αとして一人、二人目とつぎ込んでミスを誘う。どの局面であつても対戦相手より人数を増やして対処するということです。

②勝敗とはボールの入れっこをどうするかということ、ゲーム中に息切れしないことだと考えています。息切れとは体力的なこと、集中力を指しています。現在、武藏では沢山の生徒をゲームに投入しています。安心して見ていられる子は2人或いは3人ぐらいでしょう。選手層が厚いから沢山の生徒を投入できるのではなく、一人一人のエキスパートな部分を生かそうという発想です。また、①の考え方は、最初の5人だけで勝ち試合を作るとは体力的にかなり難しいのです。

③現在武藏のバスケットボールは隙間産業であるといっています。1点を取る為に他のチームが行わないようなことに取り組むようにしています。

詳細を示さずこんな話をしていては支離滅裂でご理解いただくことが難しいかと思いますが、現在

エージシューターを楽々達成した。印南君は病後にもかかわらず、中学生との試合でよく走り、2ゴールをあげるなど活躍した。他のメンバーもまだまだ元気だ。今年もホームカミングデーで、汗を流すのが楽しみだ。

野球やサッカーに比べると、日本のバスケットは今のところ、まだ商業的には、ややマイナーだ。しかし、プレーヤーの人口は男女共、小学生から50歳過ぎのシニアに至るまで驚くほど多く、盛んである。私は近い将来、日本でも、バスケットが米国のように、野球並みのメジャースポーツになると確信している。RKMのほとんど何らかの形で関わってきて、よかつたと思っているに違いない。これからは更によくなる。

若いOB諸君は是非プレーを続ける等、バスケットに関わり続けて欲しい。高校生の諸君は、是非大学で、体育会のバスケット部に入学して、4年間プレーを続けて欲しい。レギュラーになれなくてもよい。4年間の部員生活の苦勞は、社会人になって大いに役に立ち、評価され、よい友人・先輩・後輩という財産にも恵まれるのである。勿論、武藏高校・RKMで得られた財産の素晴らしさについては言うまでもない。

私が考えていることです。今後ともご指導、ご協力いただきますようお願い申し上げます。



22年度RKM総会でスピーチする山崎先生

現役支援金使途について

現在外部から高校の部活に対して「オレンジカウンティ」というトレーナー派遣会社と契約しております。この年間契約へ現役支援金の一部を使わせて頂いております。

また、残りの金額はボール購入に充てさせて頂いております。高校、中学で使用するボールのサイズが違いますので、それぞれに購入ということになります。

以上簡単ではありますが、ご報告いたします。



今年のインターハイ予選を振り返って

78期 木本 健一

5月23日から始まった今年のインターハイ予選。夏目の暑い体育館での戦い。負ければ高3は引退という緊張感の中、選手たちは力の限りを尽くして素晴らしい試合を見せてくれました。先の関東大会予選でベスト16進出を後一步のところで逃したことも、後になつて考えれば選手たちの力を引き出した要因の一つであつたかもしれません。

今年のチームが強かつたのは、チームがひとつにまとまつていた。からだと思えます。上級生を支える有力な下級生が何人もいる。私生活でも仲がよく、学年の垣根なく食事や遊びも共にする。コート上で活躍する選手たち・ベンチで声を囁らして応援する選手たちの姿は、観戦する人に元氣と感動を与えるものでした。

しかしこれで終わらないのが武藏バスケット部の良さです。応援席にはたくさん保護者・OBの姿がありました。

武藏バスケット部は、TEAMだと思えます。山崎先生・津田先生・トレーナーの皆川さんと生徒はもちろん、OB・保護者含めてひとつのTEAMです。

選手たちは先生方の指導の元、先輩後輩縦横強い繋がりでひとつのTEAMとして頑張っています。



19番ホールはバスケットゴール!

軽井沢フリースロー大会

47期 八代 和正

そもそもゴルフのダシのつもりが、畑公と触れ合える墓掃除のすがすがしさにはまつてしまった47・48・49期の佐久墓参も今年で3年目、おかげで、ゴルフをやらないうちも途中合流でき、墓参の輪は広がってきている。

昨年からは、正木先輩のお誘いで、軽井沢でのゴルフ終了後、落先輩(41期)の別荘のコートで19番ホールよろしく、バスケットゴールを狙うフリースロー大会が、メニューとして加わった。日ごろから練習しろと、バスケットボールを自宅へ送ってきた、熱き思いのメンバーも現れ、年々より真剣な戦いとなる様相である。フリースローといえば、現役時

代、畑公からボードの側面の厚み部分めがけてシューターをし、ボールが真っ直ぐに返ってくるよう練習させられた。真っ直ぐ飛ばすのは運動神経だと教えられ、それを磨かされたのだと思う。その後ある国際大会のときだったが、フリースローが全く入らない当時日本のエース北原に、畑公が「北原ひざだ、ひざだ」とアドバイスしていた。畑公の中では、真っ直ぐ飛ばすのは、運動神経、距離は、ひざ、という理論が出来上がっていたと思う。しかし、RKMでない北原は、意を解せず、試合を落とすことになった。

ところで今回の19番ホールであるが、RKMの理屈とフォームこそ現役時代を思わせるが、ボールと変らない体形、気持ちだけ跳んでいる足腰と、苦戦する者もいる中、「現役時代より入る!」と冷やかされつつも福本君(48期)がプレーオフを制し、7/10本で優勝した。

2010年度ホームカミングデイのご案内

今年ホームカミングデイは9月11日(土)午後2時から開催されます。RKMとしては、現役との交流試合と、恒例となつたフリースロー大会を予定しています。

また同時に、高中視聴覚教室にて26期・辻正史氏(大阪大学名誉教授)による講演「聖地の発見―トルコ地中海沿岸発掘調査―」が、さらに4時30分からは高中図書館棟にて各部合同懇親会(会費:74期まで4千円、75期以降3千円、学生2千円)がアレンジされていますので、バスケットをやらない方も是非ご参加下さい。

Together
Everyone
Achieve
More

みんなが協力すると、もっと成し遂げられる。これからも、強い武藏を見られることを、心より楽しみにしています。

- 右上: 現役支援金の贈呈 (22年度RKM総会)
- 左上: 22年度ホームカミングデイのフリースロー大会 (32期の3人)
- 左中: 軽井沢フリースロー大会
- 左下: 現役の試合風景



来年は3P大会もやろうと、すでに話は盛り上がりつつある。